

# 消防総合訓練

(4月8日開催)



手押し式ポンプを動かす結の故郷女性分団の女性消防団員とまとい隊

斜めブリッジ救出訓練

# おおの 議会だより

No.201 平成30年4月25日



福井しあわせ元気国体2018  
福井しあわせ元気大会2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう カと技と美しさ

▼ 3月定例会の概要	2・3ページ
▲ 代表・一般質問の概要	4～10ページ
▲ 議案等の各議員表決	10～12ページ
▲ 人事案件	12ページ
▲ 常任委員会審査Q & A	12・13ページ
▲ 特別委員会報告	13・14ページ

大野市議会では、ホームページでも議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報を掲載しています。ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会  
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
編集：議会だより編集委員会

## 3月 定例会の概要

第406回定例市議会が2月26日から3月16日までの19日の会期で開催されました。今回の定例会では、平成30年度の各会計予算案、平成29年度各会計補正予算案、条例の制定・改正、人事案件などの全50議案について審議しました。審議結果は、10／12の通りです。

### 副議長に廣田氏

定例会初日に副議長の選挙を行い、廣田憲徳氏を選出しました。また、各常任委員会委員の改選と前委員の辞職に伴う各特別委員会委員の補充を行いました。

なお、総務文教常任委員会では、委員長に梅林氏を、産経建設常任委員会では、委員長に永田氏を、民生環境常任委員会では、委員長に高岡氏を、また人口減少・若者定住対策特別委員会では、委員長に高田氏を新たに選出しました。

### 副議長決まる



廣田 憲徳氏  
(第54代副議長)

### 議会運営委員会及び各委員会の構成

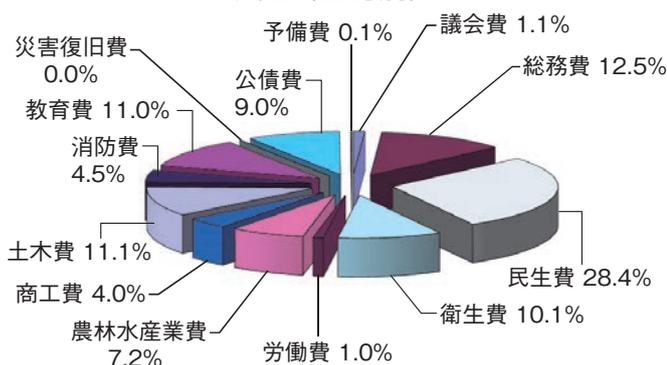
◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	常任委員会			特別委員会	
	総務文教	産経建設	民生環境	中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進	人口減少・若者定住対策
◎ 島口 敏榮 ○ 川端 義秀 永田 正幸 梅林 厚子 宮澤 秀樹 兼井 大榮 正夫	◎ 梅林 厚子 ○ 兼井 大野村 勝人 山崎 利昭 宮澤 秀樹 島口 敏榮	◎ 永田 正幸 ○ 堀田 昭一 高田 育昌 藤堂 勝義 松原 啓治 畑中 章男	◎ 高岡 和行 ○ 松田 元栄 廣田 憲徳 川端 義秀 砂子 三郎 榮 正夫	◎ 島口 敏榮 ○ 藤堂 勝義 永田 正幸 川端 義秀 高岡 和行 兼井 大畑中 章男 榮 正夫	◎ 高田 育昌 ○ 堀田 昭一 野村 勝人 廣田 憲徳 松田 元栄 梅林 厚子 宮澤 秀樹 松原 啓治

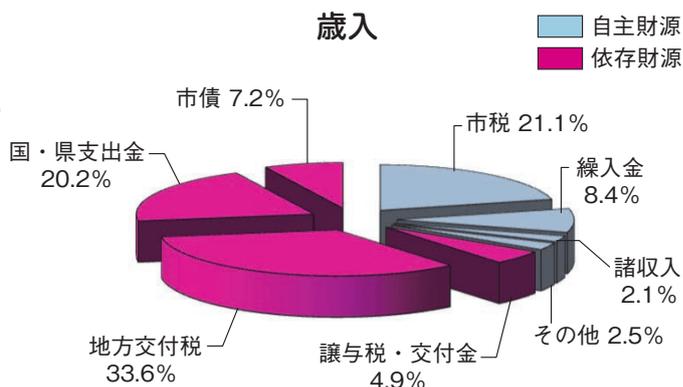
## 平成30年度各会計予算決まる

健全財政の維持を念頭に置いて、各種施策を着実に前進

#### 歳出(目的別)



#### 歳入



会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	177億600万円	3.4
特別会計	101億1465万円	△6.6
水道事業会計	2億9709万円	△3.2
総計	281億1774万円	△0.5

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など7会計の合計額

一般会計は  
総額177億600万円

第五次大野市総合計画後期基本計画の中間年として、健全財政の維持を念頭に置いて、結の故郷づくりを目指し、地方創生・人口減少対策、少子化・高齢化対策、地域力・市民力の強化などの喫緊の課題に加え、重点道の駅(仮称)「結の故郷」の整備、福井しあわせ元気国体・元氣大会の開催、水への恩返しキャリングウォータープロジェクトなどの大型プロジェクトに着実に取り組む、行政の継続性を重視した予算となっています。

## 人が元気



- オリンピックホストタウン推進事業 118万円**  
東ティモール選手等の招致や選手などと地域との交流活動、東ティモール選手団の事前キャンプの誘致に係る経費
- 国民体育大会等大野市実行委員会運営経費 3095万円**  
福井しあわせ元気国体等大野市実行委員会の運営に要する経費
- 国民体育大会競技施設整備事業 4032万円**  
国体カヌー競技のコース整備費
- 国民体育大会競技開催負担金 2億2814万円**  
正式競技（自転車、相撲、カヌー）、デモンストレーションスポーツ（サイクリング）の開催に係る負担金
- 民俗博物館（仮称）検討事業 550万円**  
市指定文化財大野市民俗資料館保存活用計画の策定経費
- 市史発刊事業 1650万円**  
大野市史「通史編」上巻を発刊する経費
- 和泉保育園・和泉児童センター等移転整備事業 4270万円**  
和泉保育園と和泉児童センターを和泉小中学校へ移転するための経費
- 消防緊急通信指令システム整備事業 2億5270万円**  
消防緊急通信指令システムの更新整備費

## 産業が元気



- 沿道スペース整備事業 250万円**  
沿道スペース（和泉ふれあい広場）の整備に係る実施設計費
- 働く人にやさしい企業応援事業 400万円**  
働き方改革に取り組んだ事業所を認定し、取り組みに応じて奨励金を交付  
女性従業員の育児休業に伴い、代替従業員を雇用し、職場復帰させた事業所及び男性従業員に育児休暇を取得させた事業所に対して補助
- 地域再生マネージャー活用事業 480万円**  
空き店舗対策や企業誘致、まちづくり人材の育成、新たな産業の創出に取り組むための協議会を設立する経費  
産業振興マネージャーとして外部専門家を招請
- 名水を活用した新商品開発事業補助 75万円**  
名水を活用した新商品開発事業に対して補助
- 越前おおの版DMO設立検討事業 94万円**  
越前おおの版DMOの設立に向けた検討に要する経費
- 案内サイン更新等事業 3200万円**  
市内で統一されたイメージの案内サインの整備費
- 幕末明治福井150年博実行委員会負担金 18万円**  
幕末明治福井150年博開催に係る実行委員会負担金
- 畜産経営安定化支援事業補助 141万円**  
高能力乳牛の導入に対して補助

## 自然が元気



- 地域用水環境整備事業 640万円**  
小水力発電施設の整備に対して補助
- 化石発掘体験センター管理運営経費 1984万円**  
化石発掘体験センター「HOROSSA!」の管理運営に要する経費、2トングンプトラックの購入費

## 行財政改革



- 結の故郷創生会議負担金（CWP）6058万円**  
人口減少対策プロジェクトのうち、水への恩返しキャラクターリングウォータープロジェクトに係る負担金

### その他の 主な議案

▼**大野市介護保険条例の一部を改正**  
平成30年4月1日から65歳以上の被保険者の介護保険料の改定や介護保険法等の一部改正に伴う所要の改正を行いました。

▼**大野市企業立地促進条例の一部を改正**  
産業団地への企業誘致とIT関連企業等の誘致に向けた支援や、地元企業への支援を追加するた

▼**平成29年度一般会計予算を3672万円減額**  
平成29年度の一般会計予算から3672万円が減額され、予算の累計が182億6696万円となりました。

国の補正に伴う増額や、それぞれの事務事業の額の確定等に伴う減額がなされたほか、財政調整基金をはじめとした各基金への積立金の増額などの補正がなされました。

▼**専決処分の承認**  
平成29年度一般会計予算に除雪費2億5000万円を追加した専決処分について承認しました。

▼**財産の取得**  
重点道の駅（仮称）結の故郷の用地として利用するため、3万4480・49平方メートルの土地を取得することとしました。

▼**過疎地域自立促進計画の変更**  
同計画に、県営土地改良事業負担金に牛ヶ原、下庄北部、大野阪谷2期を、道路改良事業に小矢戸県道赤根橋線を、県単林道整備事業（改良工事）に大野・池田線、法恩寺線がそれぞれ追加されました。

め、平成30年4月1日から企業立地助成措置の対象業種と対象エリアを拡大するとともに、対象事業の明確化に必要な用語の定義を追加しました。

# 重点道の駅「(仮称) 結の故郷」は、 建物先行でソフトの議論が足りていないのでは



天空おおの

かねい

まさひろ  
大議員

代表質問

## 大野市道の駅産直の会準備会を設立したところ である

**問** 重点道の駅(仮称)結の故郷について、ハード・建物先行で、ソフト部分の議論が足りていないのではないかと。

最も時間のかかる市内へのお客さまの回遊性について、市民との議論は進んでいるのか。  
ソフト構築へ費用や時間をしっかりとかけるべきではないか。

**答** 市内への回遊性の確保については、本道の駅では、観光コンシェルジュを配置し、市内の観光地やイベント情報を発信するとともに、自然体験や歴史文化体験など、観光客のニーズに合ったモデルコースの提案を行うことにより、まちなか観光だけでなく市内各地を回遊する仕掛けづくりが必要であると考えている。  
道の駅を出発点とした

観光施設を巡る季節、年代ごとのお勧めルート案を作成し、昨年12月にこれらについて、大手旅行代理店と協議を開始したところであり、関係を密にしてニーズにあったルートを作成し、魅力あるコンテンツの向上に努めていく。

さらに名古屋市と金沢市間を運行している高速バスを本道の駅に誘致できるように、高速バス運行会社に対して今後とも働き掛けていきたい。

また、市内の事業者が行うアウトドア体験や星空観察体験などの新たな観光商品の開発を支援し、本道の駅において積極的に紹介することで、民と官が互いに連携して市内回遊性の向上を図ってみたい。  
回遊手段としては、自

転車を活用した観光の楽しみを提供するため、大野、勝山、永平寺の道の駅や、JR、えちぜん鉄道の主要な駅、まちなか、観光施設などを巡るモデルコースを、3市町が連携して、本年度中に作成していく。

併せて本道の駅の供用開始をめどに、道の駅を発着地とするレンタサイクルの整備についても検討しているところである。

そのほかスマートフォンアプリやSNSを活用した回遊策なども検討するとともに、イベント会場としても活用し、市内外から本道の駅を目指して多くの方にお越しいただけるようにも取り組んでいきたい。

農林産物などを供給できる仕組みについては、奥越農林総合事務所、テラル越前農業協同組合、農林薬舎、関係各課、指定管理予定者、道の駅九頭竜の指定管理者で構成する、大野市道の駅産直の会準備会を設立したところである。

その中で、本道の駅と九頭竜道の駅とで共同の産直の会を設立し、本市のような雪の多い地域においては、冬場の農林産物の確保が課題であることから、本道の駅に年間を通して農林産物を安定的に供給するために、県内や姉妹都市、友好市町などの農林産物についても提供できるよう検討していきたい。

また、産直の会に対して園芸指導、価格指導などを行うため、奥越農林総合事務所、テラル越前農業協同組合、農林薬舎、大野市で構成する産直の会を支援する組織を設立することを確認したところである。

今後、関係者への説明会などを実施し、より多くの生産者から出荷していただけるよう働き掛けていきたい。

また、本市の魅力ある土産品となる特産品の商品開発については、既に越前おおの雇用創造推進協議会において、若い女性性をターゲットとして行

っており、従来の7品目に、新商品として里芋ころ煮まんじゅう、でつち羊羹パン、雪の下にんじゅん手作りジャム、お米のあられクッキーの4品目を加えた11品目の商品を開発した。今後とも、事業者の商品開発に対して、支援をしていきたい。今後は、指定管理予定者が中心となり、これらの新商品や既存の特産品、また本道の駅は、福井県の東の玄関口であることから、その地理的条件を生かし、県内の特産品などについてもどのように提供するか検討していく。



新商品として開発した土産品

# 岡田市長4期目となる市長選挙に 不出馬を表明した理由は



## 初当選当時の意思であり、 残された任期を全力で取り組む

新生おおの

しまぐち  
**島口**

としえ  
**敏榮** 議員

**問** 岡田市長は、3期12年間で数多くの成果を挙げてこられたが、引き続き継続して取り組むべき課題も数多く残されている。

**答** そのような中、次の市長選挙に不出馬を表明されたのはどのような考えなのか。

**答** 今後も引き続き取り組んでいかなければならない行政課題もあるが、将来に向けての道筋を付けることができたものと確信しており、初当選当時の意思のとおり、今限りで市長の職を辞する決意を固めた。残された7月6日までの任期を、これまでどおり全力で取り組みたい。

**問** 現在の市の厳しい財政状況と将来にわたる健全財政についてどのような考え、平成30年度当初

予算を編成したのか。

**答** 義務的経費や経常的な経費、国、県と進めている事業や中断を許さない事業等、行政の継続性を重視して計上した。

また、事務事業のゼロベースでの見直し、積極的なスクラップ・サンセット方式を実施し、事業の重点化、効率化に取り組んだ。

いずれにしても、将来の世代に過度の負担を残さない、受益と負担のバランスに配慮した健全な財政運営が必要であると考えている。

※スクラップ・サンセット方式 予算や行政組織の肥大化を防ぐために、既存の予算や事業を廃止したり、期限を設けて、その期限を過ぎたら廃止する方式

**問** 中部縦貫自動車道、



九頭竜川橋P2橋脚工事  
(下山地区)

国道158号等の幹線道路の整備促進や、重点道の駅の整備に向けたこれまでさまざまな取り組みを振り返り、今後の着実な整備に向けた取り組みについてどのように考えているのか。

**答** 特に中部縦貫自動車道の整備促進については、市民の皆さまにとつて「生命の道」「生活の道」「希望の道」であり、本市の最重要課題として取り組んできた。

また、国道158号境寺・計石バイパスについても早期に整備する必要があり、引き続き安定的に予算を確保するよう、要望活動に積極的に取り組んでいくことが肝要であると考えている。

また、重点道の駅については、中部縦貫自動車道の開通を見据え、越前おおのまるごと道の駅ビジョンの核となる拠点施設として、32年度の供用開始を目指しており、ふれあい交流人口の拡大や地域経済の活性化につながるものと考えている。

**問** 30年産米から国による生産数量の配分、直接支払交付金が廃止されることとなるが、このような状況の下で持続可能な越前おおの型農業を新たに展開していくに当たり、どのようなことに特に留意すべきか。

**答** 米価の下落を防止するため、大野市農業再生協議会と連携し、引き続きコメの生産調整に継続して取り組むこととしている。国の水田活用交付金を活用したコメ、ムギの後のソバまたは大豆による2年3作体系を促進するとともに、市独自の支援策を講じ、特産作物、園芸作物の生産拡大を図り、新たな販路となる重点道の駅への出荷を促したい。

**問** 中心市街地の活性化については、第2期大野市中心市街地活性化基本計画の計画期間が本年度末で終了するが、これまで取り組まれてきた2期10年を振り返り、市長の現在の思いとこれからの展望はいかがか。

**答** 2期10年の取り組みにより、まちなか観光入り込み客数は、19年の約50万人から29年には101万人へ倍増し、中心市街地の空き店舗改装等への補助実績も増加するなど、民間が主体となった大型事業も実施されておりました。経済活動が活発化してきたことは、大きな成果であると考えている。

一方で、行政でできることは限りがあるため、今後は、商店街や事業者の方など市民の皆さまが主体的に取り組んでいただくことで、より魅力的な中心市街地の形成につながるものと考えており、市民の皆さまと一体となつて取り組んでいく必要があると考えている。

# なぜ小学校2校、中学校1校が新築なのか

安全・快適な空間で、楽しく、深く、学びを追求できる教育環境を整えるためには、既存校舎の活用は困難で、耐用年数からも新築が適切



天空おおの  
松田 元栄 議員

**問** 大野市小中学校再編計画について、事実上、議会で見直しを求める決議がされたにもかかわらず、なぜ最良で最善の計画として進めるのか。

**答** 同計画は、教育委員会が議会や市民の意見を聞いて、多くの時間をかけ作り上げて策定した計画であり、生きている。

**問** 越前おおのブランド戦略について、大野へかえろう事業、キャリングウォータープロジェクト及び結の故郷創生会議で1億1400万円を計上して人口減少対策として捉えているが、効果は表れているのか。

**答** 水への恩返しキャリングウォータープロジェクトは、大野市が誇る水を活用したソーシヤルな人口減少対策として、本市の認知度を上げるとともに、関係人口を増加させ、市民の活力へとつながっている。寄付を集めることは難しいことである。

**問** 結の故郷創生会議の負担金が初年度は国の補助金で賄ったが、2年、3年目となると、一般財源から手当しなければならぬ。臨時財政対策債を含まない經常収支比率で100割を超え、5年前と比べると、平成30年度の計画では、基金残高が34億円となり、どんどん減っている。厳しい財政状況の中、見直しや節約が必要ではないか。

**答** 電通への支出は、確かに他の事業より大きな規模であることは間違いないが、財政面もしつかりと見て問題がないようにしている。3年前に協定を結んだときの共通認識として、いつまでも電通に頼るといことは地方創生の趣旨と異なるので、将来的には自立して、効果的に実施していきたい。

一般質問

# 地方創生のための総合戦略を執行する上で若者が立案、実施、参加する事業枠は

若者や子育て世代の参画を期待し、制度設計や環境整備に努める



無党派  
堀田 昭一 議員

**問** 若者が意見を出して立案し、実施においても若者が参加する事業の検討は。

**答** 青年活動推進事業を特定の青年団体に対する委託事業から、幅広く市内の青年グループを支援する補助事業への見直しを行う。また若者や子育て世代の参画を期待し、地域のために役立つ取り組みを行う制度設計や環境整備に努める。

**問** 若者が意見を出して立案し、実施においても若者が参加する事業の検討は。また星空のブランド化について、改訂した越前おおのブランド戦略に重点方針として盛り込んでいる。

**答** 青年活動推進事業を特定の青年団体に対する委託事業から、幅広く市内の青年グループを支援する補助事業への見直しを行う。また若者や子育て世代の参画を期待し、地域のために役立つ取り組みを行う制度設計や環境整備に努める。

**問** 私が未来の市長提案事業の30年度予算案への反映は。

**答** 有害鳥獣対策として、将来の農林業振興や、集落の活性化などにつながる活動を担う地域おこし協力隊員の募集と、隊員の狩猟免許取得に係る経費を計上した。

**問** 今回の福井豪雪で、ふるさと納税の支援を募集しなかった理由は。

**答** 多額の除雪費用や、今後の修繕費用などを寄付によって賄おうとすることは、本市のふるさと納税の趣旨にそぐわない。



中学生みこしを盛り上げる青年団体

# 産業団地の整備、企業が来なければ 将来世代に財政負担を強いるが、その対策は



## 早期の分譲に向けた企業誘致に努める

**問** 産業団地立地における土地取得面積、土地購入価格は幾らか。

**答** 昨年末に約14・6畝の民有地を約4億2000万円で取得。整備後の分譲面積は約12畝。平成30年から2年間をかけて造成工事を行う。

**問** 土地を買っても企業が来なければ損失は免れない。固定資産税も入らず年数がたてば、損失は拡大していく。どのような対策をお考えか。

**答** 現段階では産業団地への進出を決定した企業はないが、中部縦貫自動車道の開通を視野に、中京方面の企業訪問強化や地元企業、関連企業の動向を把握し、早期の分譲に努めていく。

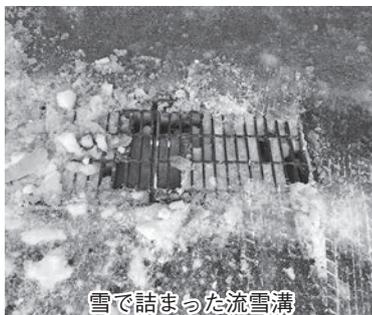
**問** 今年の大雪では、例年以上に、流雪溝に雪が詰まり、道路の冠水が見受けられた。市民の中には早朝2時、3時に除雪

をする姿もあった。昔から続いているこの問題への解決策は。

**答** 流雪溝の水については、お互いが譲り合いながら、時間差をつけたりするなど、地区ごとに配慮して有効に水を使っていたきたい。



流雪溝に雪が詰まり、道路が冠水（県道本郷大野線（三番線））



雪で詰まった流雪溝

天空おおの

梅林

厚子 議員

# 大野市文化会館の整備は

## 文化会館の整備に係るPFI方式は 検討の結果、導入しない



**問** PFI方式を導入しない検討結果は。

**答** 文化会館は、基本計画の策定と並行して、民間資金等の活用による公共施設等の整備促進に関する法律に基づく整備手法であるPFI導入の可能性を31社にアンケートを実施した。調査の結果22社から回答があったが、詳細なヒアリングを実施したところ、維持管理、運営費等概算事業費が低額なため参加できないとの厳しい回答があった。庁内部課長で構成したPFI検討委員会で検討した結果、将来的財政負担が大きくなる可能性が高い。また事業費が少なく民間がノウハウを生かしく、導入を進めても入札の際に応札者がいない可能性が高いため、PFI方式を導入しない方が良いとの結果となった。

**問** PFI検討委員会での検討された内容について、

公表の考えはないのか。

**答** PFI導入の可能性調査の結果は、平成29年度末までに取りまとめ、市のホームページで公表する。

**問** 今後の整備計画はどのように考えるのか。

**答** 今後のスケジュールは、29年度内に基本計画の策定を予定していたが、PFI方式を導入しないため、再調整を図り、30年度で基本計画を策定したいと考えている。

**問** トップアスリートの支援と育成の考えは。

**答** スポーツに関し、競技団体、スポーツ少年団及びジュニアクラブチームの活動支援、トップアスリートを招聘（しゅうへい）した講習会や各種スポーツ大会の開催など、競技力の向上を図っている。福井元気団体の開催が良いタイミングと考えている。

誠和会・公明党

藤堂

勝義 議員

# 公務員の定年延長に関する課題は何か

給与体系の見直し、役職定年制の導入、新規採用等の課題があり、条例を改正することとなる



誠和会・公明党

みやざわ 宮澤

ひでき 秀樹 議員

**問** 定年延長を社会全体  
の目線でどう考えるか。

**答** 60歳で定年退職した  
後、年金の支給開始年齢  
に達するまで無収入の期  
間が発生し、この問題を  
解決することが官民共通  
の課題である。

**問** 公務員の定年延長の  
課題は何か。

**答** 総人件費の抑制が必  
要で、給与体系の見直し  
と同時に、役職定年制の  
導入や、若手、中堅職員  
に重要な職務に従事する  
成長機会を付与すること  
も必要となる。また新規  
採用の課題も生じる。定  
年延長する場合は、条例  
を改正することとなる。

**問** Jアラートの市民へ  
の説明や訓練、また避難  
マニュアルの作成をどの  
ように行っているのか。

**答** 自主防災組織が行う  
各地区の防災訓練に向  
き、緊急時の実際の種類  
ごとのサイレン音を確認  
してもらっている。全小  
中学校においては、ミサ  
イル情報伝達訓練を行っ  
た。また国や県から防災  
に関する各種計画の作成  
や改定に合わせ、市町に  
対する技術的助言や通達  
が示されており、市でも  
随時、計画やマニュアル  
の見直しを行っている。

**問** GAP認証の取得効  
果と今後の対応は。

**答** GAPに取り組みこ  
とで農業経営が改善され、  
対外的に農産物や経営全  
体の信用度が大きくなり、  
近年では農産物の取引に  
おいて取引先が認証取得  
を求める動きもある。特  
に輸出の際には、国際的  
に通用するグローバルG  
APの取得を求められて  
きている。市では県やJ  
Aと連携し、奥越農業振  
興協議会による研修会の  
開催や、国、県の支援メ  
ニューの活用を促進する。

※GAP 農業において、  
食品安全、環境保全、労  
働安全等の持続可能性を  
確保するための生産工程  
管理の取り組み

一般質問

# 介護保険基金（貯金）の運用で 保険料値上げを抑えられないか

第7期の算定では1億2000万円を取り崩す  
こととし、6000円に抑えた



日本共産党大野市議員団

さかえ 榮

まさお 正夫 議員

**問** 提案議案第22号では  
介護保険料を5500円  
から6000円に値上げ  
しているが、基金を取り  
崩すなどして、値上げを  
抑えるべきではないか。

**答** 介護保険料の計算は  
3年を1期とした介護保  
険事業計画を立て、その  
間は同一保険料で設定し、  
特別会計内での年度ごと  
の剰余金は、準備基金に  
積み立て、不足は必要額  
を取り崩すことにしてい  
る。

計画期間の最終年度に、  
準備基金に残高があると  
きは、準備基金を取り崩  
し、保険料の抑制を図る。  
平成29年度が第6期計画  
の最終年度で、昨年度末現  
在の準備基金の残高は1  
億7000万円となり、  
そのうち1億2000万  
円を取り崩すこととし、  
月額6300円の計算値  
を月額6000円とした。

**問** 国民健康保険税が低  
所得層には高くて支払い  
が困難で、その上、子ど  
もが多いと均等割が多く  
なる。資産割を課すなど  
の構造的な問題があるの  
ではないか。

**答** また、国民健康保険財  
政が苦しい大もとは、7  
割の保険給付に対して国  
庫負担が5割になり、全  
体としては35割になった  
ことが主な原因ではない  
か。

**答** 国民健康保険税の資  
産割の廃止は、都道府県  
単位化に伴い、国保財政  
の安定化に向け各市町の  
赤字解消や削減を進め、  
将来的に保険料水準の統  
一を目指し、保険料算定  
方式を4方式から資産割  
をなくした3方式に段階  
的に進めるとしたところ  
である。

子どもの均等割廃止や  
削減は、県の運営方針に  
はない。30年度の国庫負  
担は約2割であり、前期  
高齢者交付金等の制度改  
正などについても考慮す  
る必要があると考える。

# 柳廼社境内に建つ民俗資料館の移転は必要か



## 建物保存という中で、 移転する方向で進めていきたい

**問** 大野簡易裁判所の移転に伴い、跡地に大野市民俗資料館の移転計画があるが、その必要理由は。

**答** 市指定文化財である建物を長く保存し、一層の利活用と、歴史的まちなみ景観の改善を図るとともに、越前おおの結ステーションを起点とした観光客の回遊性の向上を図るためである。

移転は、近隣施設との一体的な地区の形成に寄与するものと考ええる。

**問** 当施設は、入館者数が越前大野城の1割にも満たないようだが、観光客にとつて魅力に欠けるのではないか。

**答** 移転するだけではなく、魅力あふれる形を含めて、保存活用計画の中で検討していきたい。

**問** 大野簡易裁判所の解体費用は、どこから支払われるのか。

**答** 国との土地の交換を行い、その中に解体費用

天空おおの

たかだ

やすまさ  
育昌 議員



大野市民俗資料館

が含まれる。

**問** 平成32年度より小学校の新学習指導要領が全面実施されるが、改善事項は。

**答** 英語に関しては、現在5、6年生で週1時間実施している外国語活動と、もう1時間を週の中で増やし、外国語科に充てる。プログラミング教育については、国のプログラミング教育方針を各教科で活用できるように理解を進めていく。これからも、子どもの学ぶ姿から改善を見出し、指導を工夫し、未来を生き抜くための確かな力を育てていきたい。

# 平成30年度予算編成の基本コンセプトは



## 健全財政の維持を念頭に置き、 施策を着実に前進させる

**問** 市長の政治姿勢について問う。平成30年度予算編成の基本コンセプトは何かなものか。

**答** 健全財政の維持を念頭に置き、施策を着実に前進させることを第一の目的とした。

**問** 国、県との関係事業において、その互換関係はどうか。

**答** 国、県の予算編成の動向に注視し、事業の進捗（しんちよく）管理に当たり、遺漏のないように取り組んでいる。

**問** 知事マニフェストの六呂師再開発であるペアリフトは2年ほど遅れているが、どうなのか。

**答** 現在のところ、県はまだ予算が付いていない。

**問** 道の駅においては、いまだにパスが出来上がっていないのはなぜか。

**答** もう少し時間を頂きたい。

**問** 水への恩返し財団等

天空おおの

たかおか

かずゆき  
和行 議員

の機関は、当初の目的を果たしているのか。

**答** 水に関わる取り組みを広く展開していく。

**問** 水への恩返し財団に常任理事をおいて、一人雇い入れるとのことだが、財団の理事会等で決定したことなのか。

**答** 理事会では決めてないが、今後諮っていく。

**問** 順番が逆ではないか、また3万人少しの大野市が東ティモールやフランス、ブラジルへ行ったり、このような事業は電通と国へ、今副市長につないでもらったらいかがか。

**答** 国という話については、私としても何と答えていいかわからない。

**問** 文化会館建て替えについて、工事費32億円、維持費6千万円、1千万円ほど掛けたPFI導入断念後の提示はいかがか。

**答** 従来方式以外の民間手法について検討する良い機会になった。

一般質問

# 就学援助のクラブ活動費、生徒会費、PTA会費を準要保護世帯にも支給すべきでは



## 支給対象に加えることは考えていない

日本共産党大野市議団  
野村 勝人 議員

一般質問

**問** 就学援助制度で、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費は、要保護世帯へは支給対象費目になっているが、準要保護世帯にも支給するべきではないか。

**答** 平成22年度より、国の要保護児童生徒援助費補助金の対象費目に追加されたが、本市においては、現在のところ、準要保護世帯を支給対象に加えることは考えていない。

**問** 消費税増税や社会保障の改悪により経済的な格差と貧困が拡大している。誰でも安心して生活できる大野市を願って質問する。

**答** CWP関連で、3年間で3億3330万円が使われており、広告として8億円の試算効果があるということだが、観光客が増えても商店は潤っていない。ダイレクトに市民が豊かになるためには、次の施策が必要ではないか。

**答** 一つ、子どもの医療費の窓口負担500円をなくすこと。  
二つ、学校給食費を第2子は半額、第3子以降は無料にすること。  
三つ、国民健康保険税を年間1世帯平均1万円引き下げること。  
四つ、介護保険料を値上げせず据え置きにすること。

以上の社会保障を充実することにより、住みやすい大野市をアピールでき、人口減少対策にもなるため、このような施策を講じるべきである。

**答** CWP関連の広告費用は、必ず幾ら返ってくるという保証はない。ある程度のリスクや投資も含めて、しっかりと事業を行っていけば、将来的に関係人口の増加や、それによる経済効果を生み出すことができる。中長期的に行うことが、大野市のために最善だと考えている。

## 平成30年3月第406回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名 (議席番号順)	議決結果	議員名 (議席番号順)																
				堀田昭一	野村勝人	廣田憲徳	高田育昌	山崎利昭	松田元栄	永田正幸	梅林厚子	川端義秀	宮澤秀樹	藤堂勝義	松原啓治	高岡和行	島口敏榮	兼井大	畑中章男	砂子三郎
市長提案	(1) 平成30年度大野市一般会計予算案の修正案		否決	×	○	×	○	/	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○
	1 平成30年度大野市一般会計予算案		可決	○	×	○	×	/	×	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	×
	2 平成30年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 平成30年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4 平成30年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5 平成30年度大野市介護保険事業特別会計予算案		可決	○	×	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	6 平成30年度大野市簡易水道事業特別会計予算案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7 平成30年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8 平成30年度大野市下水道事業特別会計予算案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9 平成30年度大野市水道事業会計予算案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10 平成29年度大野市一般会計補正予算(第7号)案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11 平成29年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12 平成29年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案		可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）																		
		議決結果	堀田昭一	野村勝人	廣田憲徳	高田育昌	山崎利昭	松田元栄	永田正幸	梅林厚子	川端義秀	宮澤秀樹	藤堂勝義	松原啓治	高岡和行	島口敏榮	兼井大	畑中章男	砂子三郎	榮正夫
市長 提出 議案	13	平成29年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	平成29年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	平成29年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	平成29年度大野市水道事業会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	大野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	大野市議会議員及び大野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	×	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	20	大野市国民健康保険税条例及び大野市国民健康保険基金条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	大野市児童デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	×	○	○	/	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
	23	大野市指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	大野市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例案 案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	大野市指定地域密着型介護予防サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	大野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27	大野市営葬斎場設置及び管理条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	大野市企業立地促進条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	大野市都市公園条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	大野市消防手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31	大野市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32	指定管理者の指定について（大野市まちなか交流センター）	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	33	指定管理者の指定について（大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーション）	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	福井県市町総合事務組合規約の変更及び財産処分について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
35	専決処分の承認を求めることについて（平成29年度大野市一般会計補正予算（第6号））	承認	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	財産の取得について	可決	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
40	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
41	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田	野村	廣田	高田	山崎	松田	永田	梅林	川端	宮澤	藤堂	松原	高岡	島口	兼井	畑中	砂子	榮
				昭一	勝人	憲徳	育昌	利昭	元栄	正幸	厚子	義秀	秀樹	勝義	啓治	和行	敏榮	大	章男	三郎	正夫
市長提出議案	42	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	45	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	46	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	47	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	48	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	49	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	50	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（議長（山崎利昭氏）は採決に加わらないので「/」で表示）議案に賛成○、反対×

## 人事案件

### 農業委員会委員の任命

新しい農業委員会制度の下で、新たに田中豊実氏（篠座町）、山本暁慧氏（松丸）、佃健太郎氏（菖蒲池）、辻俊雄氏（井ノ口）、銅子正憲氏（阿難祖領家）、三嶋香代子氏（清瀧）、中村雅実氏（牛ヶ原）、久保田真由美氏（貝皿）、田口光子氏（友兼）、長瀬哲也氏（稲郷）を任命することに同意しました。

### 固定資産評価審査委員会委員の選任

引き続き池端保氏（牛ヶ原）を選任することに同意しました。

### 人権擁護委員候補者の推薦

引き続き萩原勢子氏（泉町）及び木下守弘氏（朝日）を、また新たに山内愼吾氏（稲郷）を推薦することに同意しました。

## 常任委員会審査

### 産経建設

#### 木材工芸品加工施設

#### 管理運営経費について

Q 和泉地区にあるこの施設は、年間の利用者数が約600人とのことであるが、行政改革を進めていく中で、このように利用者が少ない施設を、維持管理していく必要性について、どのように考えているのか。

A 化石発掘体験センター・ホロッサのオープンを契機として、いろいろな体験メニューの中に、当施設を含めた和泉地区の周辺施設を入れて、施設の利用促進を図ってみたい。

#### 委員からの主な意見

より多くの方に足を運んでいただけるよう、知恵を出し合い、和泉地区の活性化に向けたさまざまな取り組みを行って、誘客に努めていただきたい。

## Q & A

### 除雪により損壊した道路施設等の補修について

Q 今回の大雪の除雪により、あちらこちらの道路で損壊した危険な箇所が見受けられるが、その補修については、どのように対応するのか。

A 危険な箇所については、パトロールにより確認を行い、対応しているが、基本的には除雪業者の責任においての対応をお願いしており、担当路線のパトロール及び損壊による危険箇所の報告を、業者に指示している。

#### 委員からの主な意見

市民をはじめとした通行者の安全・安心の確保に直結するので、早期の

対応を促していただきたい。

### 企業立地の促進について

Q 誘致対象企業を拡大し、より多くの雇用促進を図ることを目的とした大野市企業立地促進条例の一部を改正する条例案について、既にある市内の企業に対しては、今回の改正については、どのように周知を図るのか。

A ホームページで周知するほか、市内企業へ個別訪問を行い、改正の内容を案内する。

#### 委員からの主な意見

今回の改正は、企業活動をしやすいとするものであり、これを契機として、さらなる企業立地の推進に向けた取り組みの強化をお願いしたい。

## 民生環境

### 大雪に対する

#### 対応について

#### Q 今回の雪害対応は

A 民生委員・児童委員に、高齢者世帯などの見回りを依頼し、屋根雪下



除雪により損壊したガレージ

ろしなどの対応が必要な住宅9軒について、遠方の家族などに連絡を取り、対応をいただいた。

国道158号の通行止めにより、和泉保育園に給食食材が搬入できなかった2日間については、保護者に協力いただき、弁当持参をお願いした。

下山地区では、簡易水道の凍結による漏水が発生。配水池の水位低下が認められたため、地区民に断水をお願いし、漏水箇所の特定に当たった。その後、通水作業をし、復旧した。

**◎委員からの主な意見**  
市民へは、先行きが分かる情報を、いち早く提供いただきたい。

また、県道にやむを得ず停車している介護サービス事業所の車両を幾度も目にした。車両の退避場所を作っていたかどうか、関係機関に要望してほしい。

### 新しい国民健康

#### 保険制度について

**Q** 本市の1人当たりの標準保険料は、年額11万

5790円。県内で一番高額である理由は、

**A** 平成30年度において、県内で本市のみが、前期高齢者交付金の過年度精算による追加納付が発生することや、本市は医療費水準が高い傾向にあることが考えられる。

**Q** 特定健診の受診率や、特定保健指導を受けた方の改善率が低いのではないか。

**A** 新年度から、新規国保加入者に健康調査の案内と受診勧奨の徹底を図りたい。

また、受診勧奨通知の作成に当たっては、「よく受診する・あまり受診しない・ほとんど受診しないことがない」など、受診状況別に作成するなど、特定健診の受診率の向上に向け、取り組みを進めたい。

#### 介護保険料について

**Q** 30年度から、これまでの5500円を6000円に改定する理由は、

**A** 第一号被保険者の保険料負担割合が、22割から23割になることや国から交付される調整交付金が、これまでと比較して、減少する見込みであることが、主な要因である。

**◎委員からの主な意見**  
保険料改定については、市民に十分説明し、理解を得るとともに、国等に對して、国・県負担金及び調整交付金の配分について、被保険者の負担を少しでも軽減するような仕組みを構築するよう、働き掛けをしていただきたい。

## 総務文教

### 教育相談員

#### 配置事業等について

**Q** 結の故郷教育相談員配置事業と支援員配置事業の予算が、前年度より少ない理由は、

**A** 相談員配置事業では、これまでの実績時間等を考慮し、支援員配置事業では、支援を必要とする児童・生徒が卒業したことによる減額と、配置時間数を若干減じて算定した。

**Q** 予算の減額により、

相談や支援を必要とする子どもたちへの対応に、支障が出ないのか。

**A** 相談や支援の質を落とさないように対応していきたい。

### 消防車両の

#### 有効活用について

**Q** 消防車両の更新時に、不要となった車両の取り扱いはどうするのか。

**A** 消防車両は、災害現場で使えない状態であることを前提に更新をしており、不用となった車両は処分している。

**Q** 国内での使用基準は満たさないが、諸外国では使用に十分耐える場合もあり、無償で提供するような考えはないのか。

**A** 国際貢献の一環として

考えていきたい。

### 空き家等の適正な管理について

**Q** 危険な空き家等の撤去の対象に、子どもたちの通学路に隣接しているものが含まれているのか。

**A** 通学路に隣接するものを対象とすることを、条件の一つとしている。

### ◎委員からの主な意見

適切に管理されていない空き家等は、本年の大雪の影響により、建物倒壊の危険度が増していると考えられるので、所有者等に対して、十分な説明を行いながら、早期の撤去について理解を求めていかれたい。

### 福井しあわせ元気国体・元氣大会について

**Q** ボランティア体制の準備は進めているのか。

**A** 現在、マニュアル作りを進めており、完成後には、ボランティアの方々の意見交換会や研修を行う予定である。

### ◎委員からの主な意見

全国から多数の選手等が参加する同大会は、大

野のブランド発信の良い機会でもあり、もてなしの心が、参加する選手等に、再び大野へお越しただけのことにつながると思われる。同大会は、必ず成功させなければならず、庁内一丸となって、万全の体制で臨みたい。

## 特別委員会 報告

### ▼中部縦貫自動車道等 幹線道路整備促進

#### 中部縦貫自動車道

大野・大野東区間では、平成29年度内に境界確定の手續きを完了させ、30年度は、用地取得に着手される。大野東・和泉区間では、(仮称)荒島第一トンネル下唯野側の掘削工事、蔵生、下唯野地区における改良工事、猿ヶ谷橋の下部工事、下山の九頭竜川橋の下部工事などが進められており、29年度内に、延長約5キロメートルの(仮称)荒島第二トンネルや(仮称)下山トン



荒島第一トンネル下唯野地区工事  
掘進状況約160%  
(平成30年3月14日現在)

ネルの工事が着手される。和泉・油坂区間では、川合・下半原間で用地取得が完了し、残る上半原・東市布間においても、用地取得に向け進められている。工事については、石徹白川橋下部工事が進められており、29年度内に（仮称）新長野トンネルの工事などに着手予定とのこと。

### 大野市重点道の駅

#### 〔仮称〕結の故郷

道の駅に係る県と市の整備の区分けが示された中で、施設配置図等が提示され、建物等の概要について説明を受けた。

#### ◎委員からの主な意見

①市民が平日でも気軽に来ていただけるよう、戦略的な工夫をする必要があるのではないか。

②本道の駅へは、中部縦貫自動車道からいったん下りる必要があるため、相当魅力的な道の駅でなければ集客は図れない。理事者が示す数値の集客が本当に図れるのか。

③道の駅の指定管理料については、中部縦貫自動車道全線開通後は、原則支払わないと聞いている。全線開通後に、指定管理者が赤字経営に陥らずに採算がとれ、収益性が高められる計画となっているのか。

という意見が述べられた。

#### ▼人口減少、若者定住対策

大野市総合戦略の四つの柱のうち、一番目の柱である「安定した雇用を

創出する」に関連する事業について説明を受けた。

#### ◎委員からの主な意見

・チャレンジする企業への支援では、市内事業所の新商品の開発や開業、経営向上などを支援しているが、本年2月末までの補助金等の延べ利用は15企業で、平成31年度で50企業の目標値を大きく下回っている。

新商品の開発では、農業者の生産した物を加工して、製造事業者が商品をつくることのできるようになるには、農業者と事業者が出会い、コミュニケーションが図れる場

が必要であり、そのような場の設定について、検討されたい。

・結の故郷はたらく若者応援事業では、県内就職説明会でのPRや高校生対象の説明、企業PR冊子の配布のほか、大学生や市外で就職している若者の親を対象にUIターンをPRしていきたいとのこと。

市内には、若者が就職したくなるようなIT関連などの企業はないと思われ、その誘致に努めるとともに、企業調査だけではなく、若者に対して、希望する職種や労働条件

などの意識調査を行うことも検討されたい。

・農業と農山村などの活性化に取り組み集落などへの支援では、各集落が行う農産物の直売や、盆踊り講習会など、28年度では21集落の取り組みであったが、29年度は集落ぐるみでの園芸作物の栽培と販売に、新たに2集落が取り組んでいる。

各集落の取り組みの特徴や成功事例などの紹介により、今後、新たに取り組む集落が増えてくると考えられるので、パンフレット作製等により、啓発に努められたい。

## ●市議会を傍聴しましょう

本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

次回、7月定例会（例年6月・市長選挙を考慮）の予定は次のとおりです。

日程(案)	区分	審議等の内容
7月17日	火 本会議	議案上程、提案理由説明
23日	月 本会議	一般質問
24日	火 本会議	一般質問、請願・陳情上程
25日	水 委員会	10:00 産経建設常任委員会
26日	木 委員会	10:00 民生環境常任委員会
27日	金 委員会	10:00 総務文教常任委員会
30日	月 委員会	10:00 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会
		13:00 人口減少・若者定住対策特別委員会
8月1日	水 本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決

※予定のため変更になる場合があります。  
※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合もあります。詳しくは、議会事務局へ問い合わせください。（☎0779-64-4830）

## 編集後記

平成23年以來の大雪に見舞われた本市では、交通網がまひするなど、毎日、雪との闘いに奮闘されたことと思います。

この、大変な大雪の爪痕も消えないうちに、早くもサクラが咲き誇り、すっかり春めいてきたと思ったら雪化粧。珍しい光景が見られました。

今年度は、選挙の年、6月に市長選挙、明けて2月は市議会議員選挙が行われます。

大野市の今後の4年間を主権者の皆さまが託される大事な選挙です。

さて、本号より、議会だより編集委員会のメンバーが替わり、新たな体制で読みやすい紙面づくりに努めてまいります。皆さまのご意見、ご感想をお待ちしております。  
(座長 野村勝人)

### 議会だより編集委員会

- 委員
- 野村 勝人
  - 高田 育昌
  - 永田 正幸
  - 藤堂 勝義
  - 松原 啓治

※次回は、8月下旬の発行を予定しています。